

“教育の情報化の新しい展開を目指して”

## 校務IT化の考え方

2004年 10月 1日

山中 計一 (CEC ネットワーク利用促進部長)

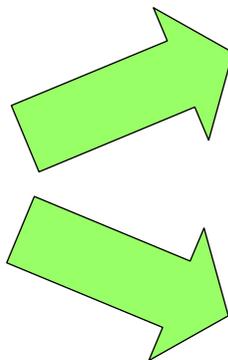
三崎 富査雄 (野村総合研究所 上級コンサルタント)

# 教育の情報化が抱える課題

これまでの教育の情報化

ITを活用した授業の実現  
への支援に重点

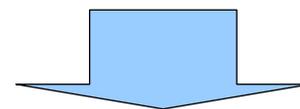
(例) Eスクエア・アドバンス事業



# ～ 校務IT化が必要 ～

教員のIT活用スキル向上  
は必ずしも十分とは言えない

教員にとって事務処理も  
大きな負担になっている



- ITを活用することで事務処理を効率化することが可能
- 日常的にITを利用することで教員のIT活用スキルの向上も期待される

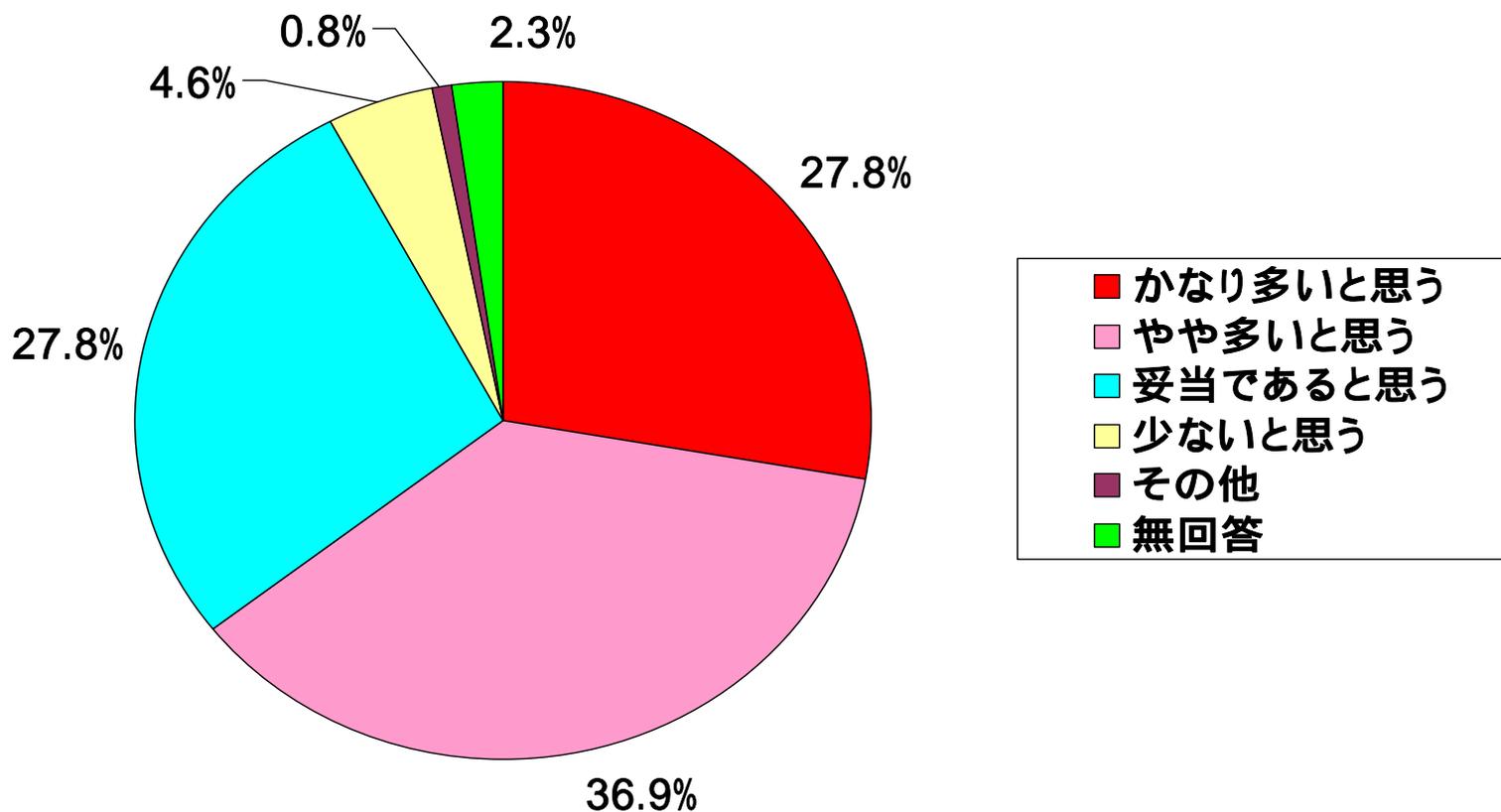
校務IT化推進の  
重要性

# 【参考】「校務」の定義とは

		学校の業務		
		校務		授業
		学校事務	事務以外の実務	
実施者	教員	<b>教員事務</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教務関連事務（成績処理、出欠管理等）</li> <li>・経費申請</li> <li>・報告書類</li> <li>・各種お便り類 等</li> </ul>	<b>教員実務</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見回り</li> <li>・点検作業 等</li> </ul>	<b>授業</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業</li> <li>・課外授業</li> </ul>
	管理者 (校長等)	<b>管理者事務</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務報告</li> <li>・稟議</li> <li>・予算要求 等</li> </ul>	<b>管理者実務</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見回り</li> <li>・点検作業 等</li> </ul>	
	事務員・ 現業職員	<b>事務員事務</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出退勤管理</li> <li>・校納金管理</li> <li>・各種情報処理 等</li> </ul>	<b>事務員実務</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現業業務</li> <li>・見回り</li> <li>・保守点検 等</li> </ul>	

# 勤務時間全体に占める“校務”充当時間は大きい

勤務時間全体に占める校務処理時間 (N = 263)



(出所)「教員事務負担軽減システム要件調査」(平成16年3月)

<http://www.cec.or.jp/e2a/e2a/15jigyou.html> より [報告書概要版](#) 取得可能 (PDF版: 205KB)

## 教員事務では、成績関連や時数管理資料の作成等のIT化が優先課題

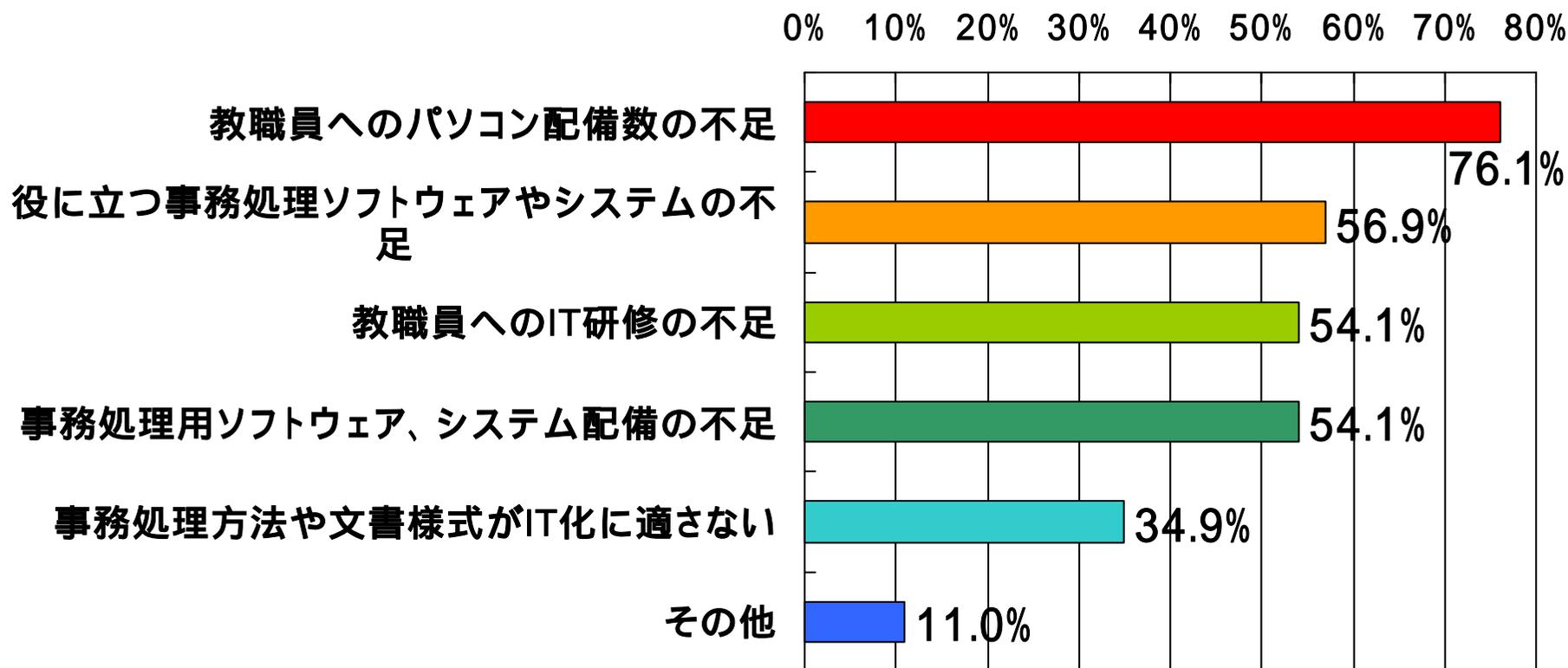
	年間業務時間(大)		年間業務時間(小)	
	業務負担感(大)	業務負担感(小)	業務負担感(大)	業務負担感(小)
IT化 不十分度 (大)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>成績関連資料の作成</b></li> <li>・ 通知表作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>時数管理関連資料の作成</b></li> <li>・ 記録簿の作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童・生徒名簿の作成、管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>児童・生徒の出欠記録</b></li> <li>・ 旅行命令簿の作成</li> <li>・ 復命書の作成</li> <li>・ 出席統計の作成</li> </ul>
IT化 不十分度 (小)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学級だよりの作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習進度確認資料の作成</li> <li>・ 児童・生徒毎の給食個数集計・返金計算</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調査書等の進路関連資料の作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経費の清算</li> <li>・ 体育・保健等記録の整理、集計</li> <li>・ 校納金の徴収</li> <li>・ 学年会計の作成</li> </ul>

## その他の校務では、ホームページ作成・更新、時間割作成等のIT化が課題

	年間業務時間(大)		年間業務時間(小)	
	業務負担感(大)	業務負担感(小)	業務負担感(大)	業務負担感(小)
IT化 不十分度 (大)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ作成・更新</li> <li>・時間割作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部からの文書受付</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・備品台帳の更新</li> <li>・学級編成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書支給関連事務</li> </ul>
IT化 不十分度 (小)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校予算の管理</li> <li>・校内書類様式の作成</li> <li>・PTA向け文書の作成、発送</li> <li>・研修関連事務</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内行事計画の作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健・体育関連データ集計及び教委等への報告</li> <li>・施設整備修繕関連</li> <li>・図書台帳の作成、更新</li> <li>・校納金等の未集金の督促業務</li> <li>・月例報告書の作成</li> <li>・PTA予算の管理</li> </ul>

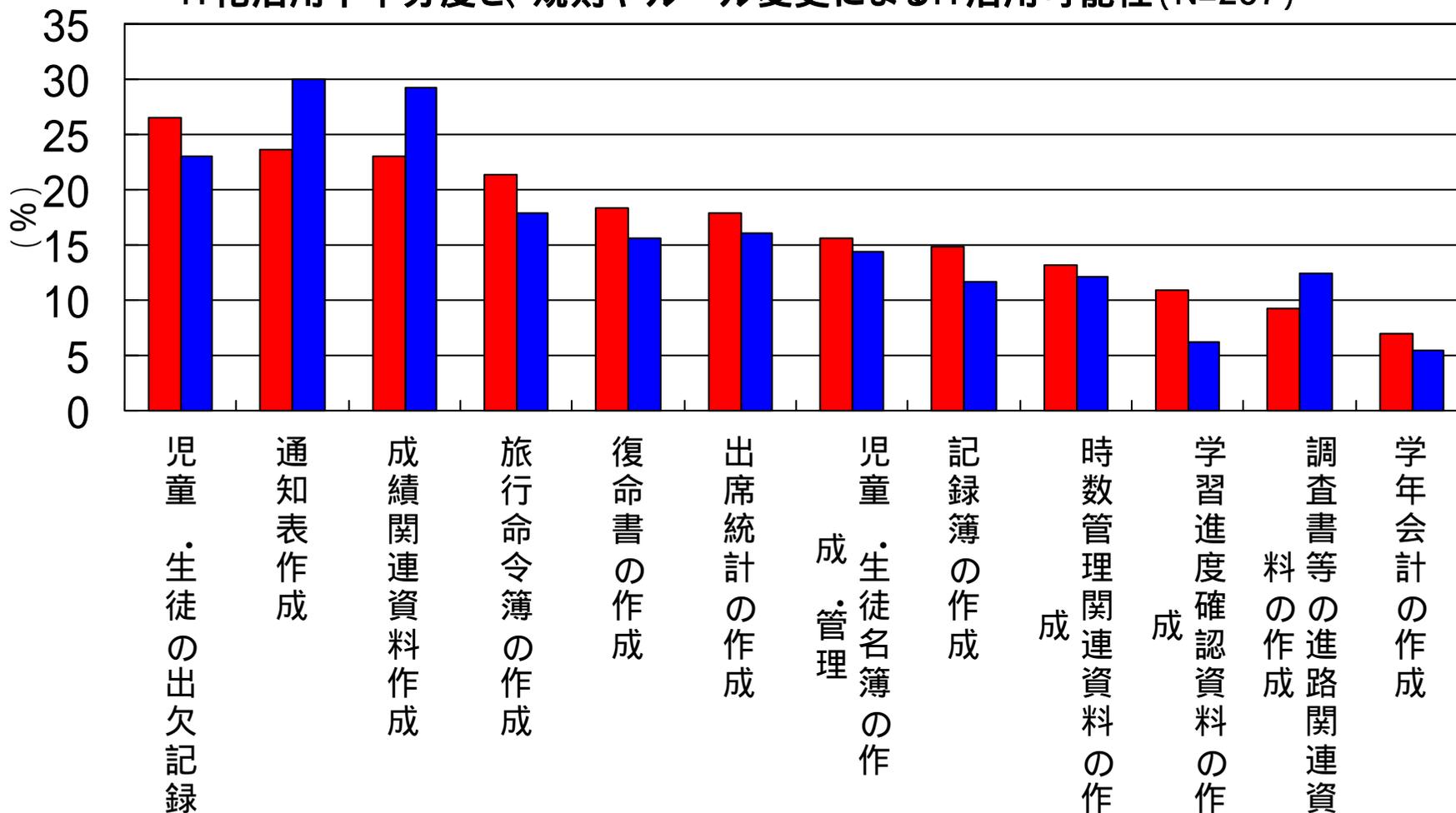
# パソコン不足、規則やルールがIT化の主な阻害要因

## 現状のIT活用状況への不満の理由 (N=263)



# パソコン不足、規則やルールがIT化の主な阻害要因

IT化活用不十分度と、規則やルール変更によるIT活用可能性 (N=257)



■ ITが十分に活用されていない
 ■ 規則やルールの変更によってIT活用可能

# 今後は、校務IT化推進の実証的検証が必要

## 校務IT化の阻害要因

学校業務のIT化を推進するコンセンサスが存在しない

現場でのIT活用推進をサポートする体制が不十分である

現行の様々な制度や慣習がITの導入や活用を妨げている

## 平成15年度調査の結果 (ヒアリングやアンケート)

### 校務IT化 の推進

## 校務IT化により期待される効果

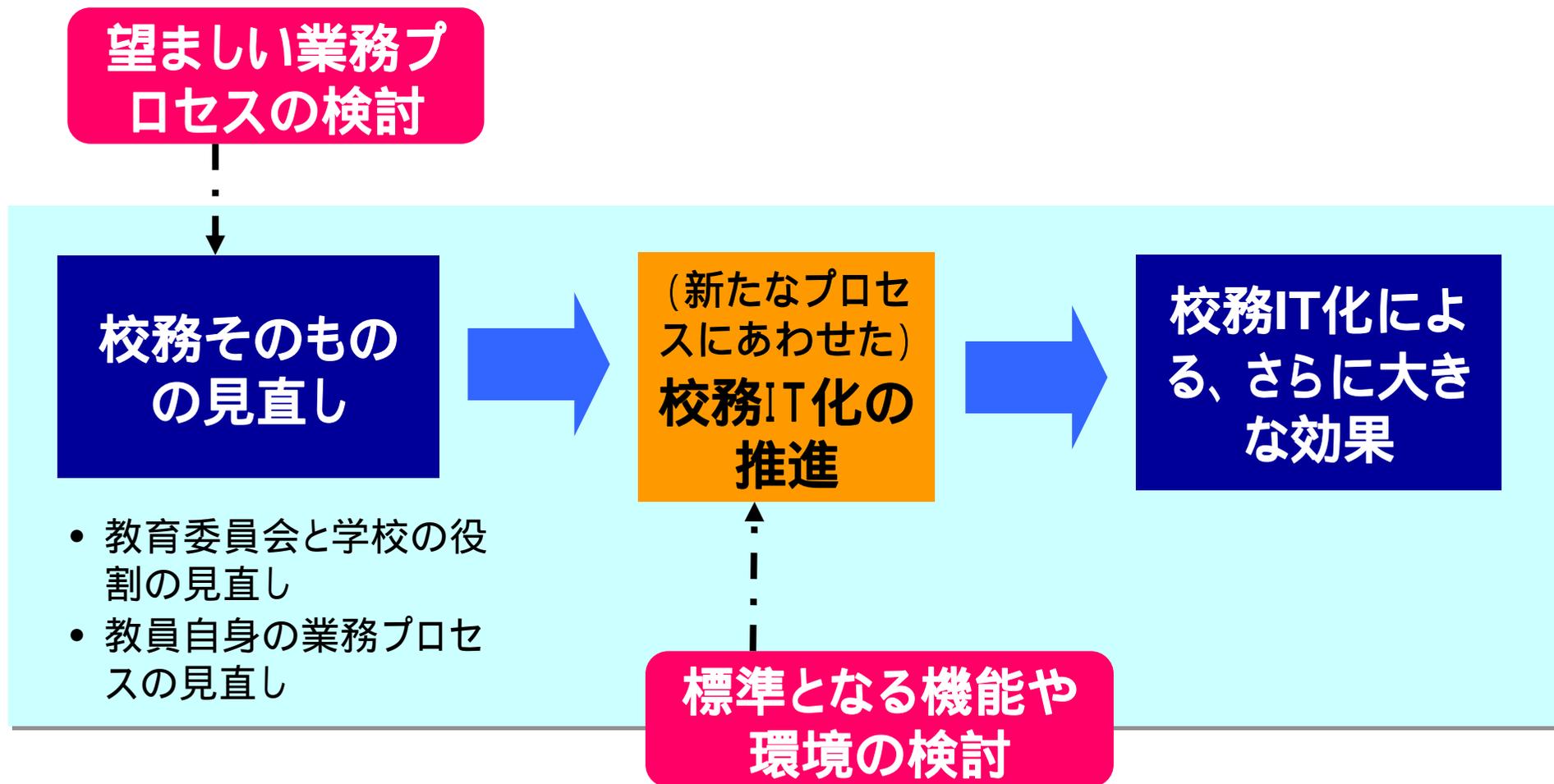
教員の事務処理時間短縮による教務への充  
当時間の確保

教員自身のITリテラシ  
ーの向上

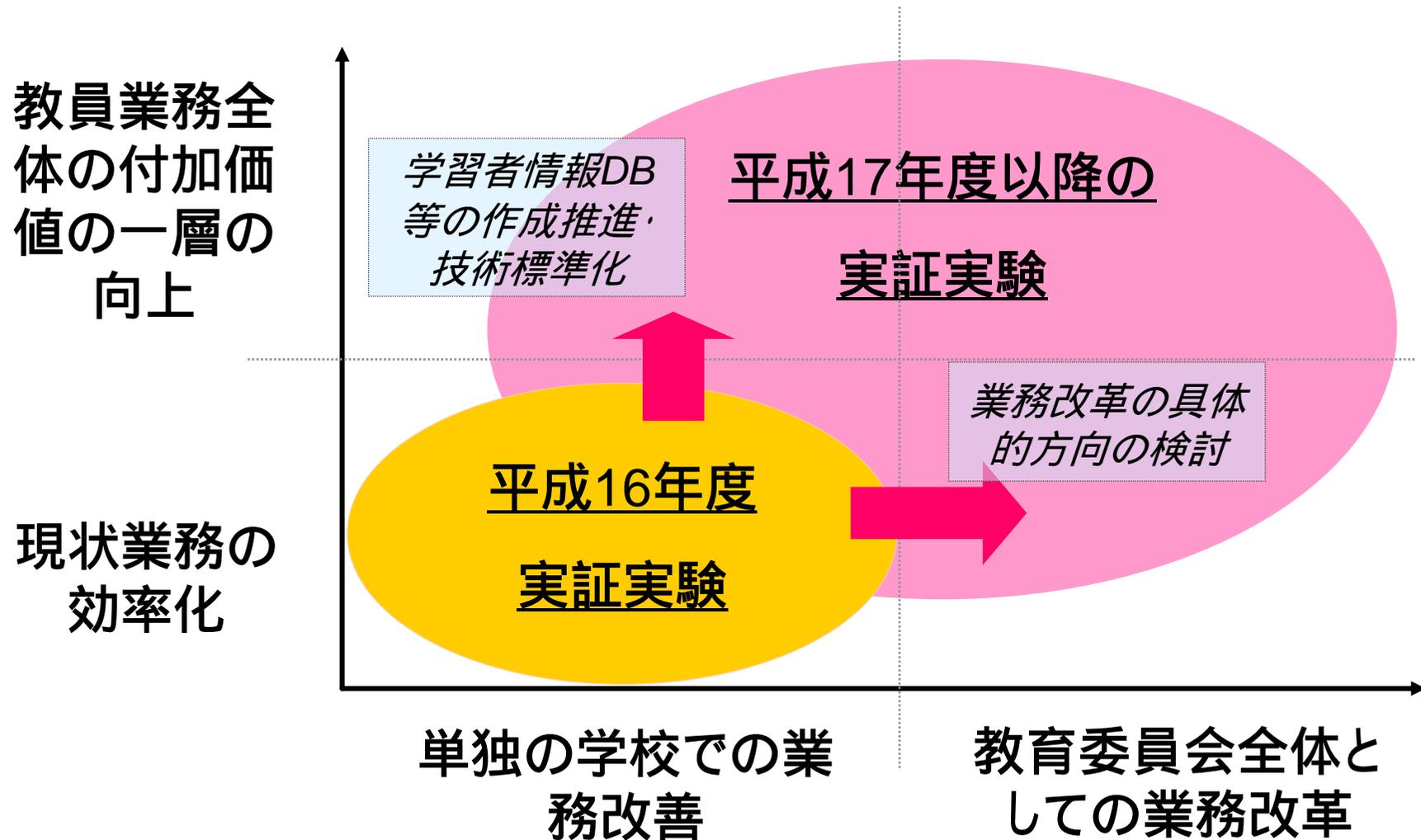
新たな学校経営や効  
果的な教育の実現

平成16年度実証実験に  
よる実証的検証

# 校務プロセス自体の見直しや、対応システムの検討も重要



## 具体的な今後の検討拡大方向



# 今年度の事業計画と今後の方向性

## 校務IT化効果の実証的検証

H18年度実証実験

H17年度実証実験

H16年度実証実験

- 成績処理システム
- 時数管理システム

- 出欠管理システム
- 成績処理システム

上越市教育委員会  
(大手町小、春日中)

倉敷市教育委員会  
(小学校2、中学校2)

JSIRC(上越地域学  
校教育支援センター)

NEC

NRI

CEC

事務局

校務プロセス見直し  
対応システム検討

- 業務改善分科会
- 技術標準化分科会

校務IT化モデル要件調査  
検討委員会

有識者

教育委員会  
関係者

文部科学省

SIベンダー

経済産業省

NRI

CEC

事務局

ありがとうございました